

薩摩川内E8がんばる宣言

令和5年5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが2類から5類へと移行されたことを受け、地域経済が回復の兆しを見せている一方、原材料価格や電気料金等の高騰、人手不足による雇用問題など、本市を取り巻く経済状況は依然として厳しいものとなっている。

そのような中で本市の経済状況の好転に向けて注目したいものが「稼ぐ力」の向上であり、それは民間企業等の事業活動を活発化し、企業が得た利益によって地域の経済好循環が実現すると考えられ、今回、経済団体でその「稼ぐ力」を強化し、力強く推進していくことで本市全体の経済発展を目指していきたい。

その稼ぐ力に資する方策の一つとしてふるさと納税の推進が挙げられ、ふるさと納税における返礼品の見直しや素材の発掘、販路開拓などを通じ、それを地域経済活性化の起爆剤とすることで、すべての経済団体の発展に寄与するべく、協力して施策を推進していきたい。

また、3年以上続いた新型コロナウイルス禍によって多大な影響を受けた市内経済の回復とこれからの力強い発展のため、アフターコロナへ向けた取り組みを進めていく必要がある。

これらのことを踏まえ、以下のとおりがんばることを宣言する。

1. アフターコロナに向け、本市の魅力ある地域資源を生かし、地域の経済的な価値を高め、事業所並びに市民の所得増大の実現のために、「稼ぐ力」の向上を目指す。
2. 人手不足などの雇用問題に対し、産業人材確保・移住促進に向けた取り組みを推進する。
3. 「ふるさと納税」において、返礼品の見直しや素材の発掘、販路開拓などの取組みを拡充し、市内商品のPRの強化やふるさと納税の増大を目指す。

令和5年6月8日

薩摩川内市、川内商工会議所、薩摩川内市商工会、北さつま農業協同組合、株式会社薩摩川内市観光物産協会、事業協同組合薩摩川内市企業連携協議会、川内市漁業協同組合、甌島漁業協同組合